

## 事業者向け各種補助金をご活用ください

問 産業課 ☎76-8132 ① ID 2217 ② ID 30852 ③ ID 51225

### ①小規模企業等補助金「デジタル化対策枠」

対象者	市内に事業所がある小規模企業者・中小企業者で、市税の滞納がないかた
対象経費・補助額	デジタル化を推進するために行う事業にかかる費用(消費税および地方消費税を除く) <b>対象経費の例</b> ●会計システム導入費用 ●会計ソフト使用料 ●キャッシュレス決済機器 ●業務効率化ソフトなどの購入費用 ●生成AIサービスの利用料※業務効率化または販促業務の高度化に資する場合に限る。当該サービスの活用に関するセミナーまたは講義の受講が必要 <b>補助額</b> 対象経費の4分の3(1事業者につき上限10万円)
申請方法	事業完了後、12/18(金)までに申請書(ホームページで)、必要書類を郵送(必着)、メールか直接(先着)

	②省エネ設備 投資促進補助金	③生産性向上設備 投資促進補助金
対象者	市内に事業所がある小規模企業者・中小企業者で、市税の滞納がないかた	
対象経費	事業所における冷暖房・LED照明・衛生設備などの各種設備を省エネ設備へ更新または導入する費用	自動化・省力化、業務改善など、生産性向上に係る機械設備などを導入または更新する費用
補助額	対象経費の2分の1(1事業者につき上限30万円。上限額以内であれば、複数設備の申請可)	対象経費の3分の2(1事業者につき上限200万円。上限額以内であれば、複数設備の申請可)
申請方法	4/6(月)～12/18(金)に申請書(ホームページで)、必要書類を郵送(必着)、メールか直接(先着)	4/30(木)～5/29(金)に申請書(ホームページで)、必要書類を郵送(必着)、メールか直接(先着)

## 文化会館主催事業

### 松本明子×青木さやか(尾張旭市ふるさと大使)赤裸々“お金トーク” 終活・貯活トークショー IN 尾張旭市

問 文化会館 ☎54-8500

節約家の松本明子とお金が貯められない青木さやか。正反対の2人が、生活を写真で紹介しながら、節約術、楽しみ方、今後の人生におけるお金の貯め方について話す楽しいトークショー。そのほかにもプレゼントが当たるジャンケン大会やサイン本の販売も行います。



と き 6/7(日) 14:30から

ところ 文化会館ホール

費用 2千円(全席指定)

申し込み 4/11(土)から直接か

チケットぴあ

(Pコード660-322)で

文化会館ホームページ▶



## 高齢者外出支援事業(タクシー・バス利用券助成)がリニューアルしました!

問 長寿課 ☎76-8143 ID 1648

利用者からの声を反映し、利用券の配布対象や助成内容を見直すとともに、高齢者のかたがより楽しく外出するために情報誌を発行します。

### ●市営バス・タクシー利用助成

	見直し前	見直し後
対象者	市内在住で80歳以上のかた	市内在住で80歳以上の運転免許証をお持ちでないかた、または返納されたかた
助成内容	以下のいずれかを選択 <ul style="list-style-type: none"> <li>●市営バスあさぴー号利用券60枚</li> <li>●タクシー利用券24枚</li> <li>●市営バスあさぴー号利用券30枚およびタクシー利用券12枚</li> </ul> ※市営バスあさぴー号利用券:普通運賃相当(100円) タクシー利用券:基本料金相当(500円以内)	市営バスあさぴー号とタクシーの共通利用券(100円券)80枚 ※タクシー乗車の場合、利用券の使用上限は一人につき千円。同乗者と合算して支払いが可能

### ●情報誌、特典証の発行

市内在住で80歳以上のかたに、市内外の協力事業者(約14事業者)でお得なサービスが受けられる情報誌と特典証(サービス利用時に提示が必要。申請不要)を発行します。詳細は、3月下旬に送付した通知をご確認ください。

特典証イメージ



## 輪島市派遣職員レポート vol.6

問 広報戦略課 ☎76-8106 ID 36386

R7.10/1から被災地支援のため、本市職員を再び石川県輪島市役所に派遣し、公費解体業務\*に従事しています。派遣職員から、現地の様子などをお知らせします。



能登半島地震から2年が経過する令和7年12月末に能登半島地震と奥能登豪雨による公費解体が終了しました。一部土砂崩れなどで解体できない家屋や旅館などの大型施設は別管理物件として処理されていく予定です。現在は、住宅整備事業に重点が置かれ、市町が国の助成を受けて能登に住み続けたい人たちのために復興公営住宅の整備計画を進めています。

公費解体が進むにつれて、建物がなくなり閑散とした景色に変わってしまいましたが、観光地の柱として輪島朝市の復興計画が進められています。火災で朝市のエリアは焼失し、豪雨で畑が被害に遭った農家のかたもいます。厳しい状況の中でも、諦めずに新しい朝市を形にするために頑張っています。

震災から2年が経った今でも、全国から多くの派遣職員が集まっています。能登出身者として共に復興業務に携われたことはとてもうれしく、お力添えいただいた方々に感謝しています。ありがとうございました。

いつか多くの皆さんがあたたかい能登の方々と交流し、自然豊かな景色を見に来ってくれる日が訪れることを願っています。

\*公費解体業務:被災家屋などについて、二次災害の防止と被災者の負担軽減を図り、生活再建支援につなげるため、輪島市が所有者に代わって解体・撤去などを実施するもの



白米千枚田



鵜入漁港



派遣職員 成瀬さん